



若狹萬次郎編著

新男子音樂教科書
教授用書



第二編

東京

會社 共益商社書店發行



E13720455 梅澤 敬一 2023/04/20 23:54:44

幸の調

ドイツ民謡曲
編著者編曲

Allegretto.

一 二 三
チチハウタヒウタヒ
あねはをたごとかたな
かぜのモそまてかしより
かぜのモそまてかしより

ハハハツブしウチリヤチノシラベ
われははふえをならすさらのしらべ
レラベのまへよきましましさいそよきた

ヤヤ一
ははははは
うたはにうたはに
うたはにうたはに

*.....ルチヲを「ラコト」と改めて用ふるも妨げず。

ヤチノシラベ
さちのしらべ
となれがれがれが

シマセストチタチリ
たまとのすめるこゑに
かよはにあらひなアがとなれが

ヤ一オホバノ一マノ一ニ
や一おほほの一まへ一に
な一レ一ナ一の一かび一に

オホチノしみまへニ
おほらののこまかへに
レ一ナ一ののまかへに

幸の調

一 父は驚曲風ひ 母は敢うてり
幸の調や

我は姉と共に 仕舞すとて立てり
幸の調や

祖母の前に 祖父の御前に

二 姉は小琴かなて 我は笛をならす
幸の調や

母は妙に驚ふ 玉とすめる聲に
幸の調や

祖母の前に 祖父の御前に

幸の調

一 ルヲ(小琴)を持ちて来り 調妙にうたへ
夕日山に沈み 暗の追る迄も
科の蔭に 科の木蔭に 共に歌はん

二 風のそよぐ森に 水の清き岸に
憂なげきつらさ 念ぎ来りて
杉の蔭に 杉の木蔭に 汝がその身の

三人の幸を奪ひ 何とか備み来る
ルヲ(小琴)を持ちて来り 響への懐の
科の蔭に 科の木蔭に 幸の調を

花 月

(小學唱歌集)

♩ = 66.

一 ハナ タ ミ ル ト キ ハ コ コ ロ イ ト タ ノ シ
二 つ き を み る と き は コ コ ロ し ツ カ ナ リ
三 ヲ キ タ ミ ナ リ ツ ア ク タ ミ テ サ サ ケ ヲ

コ コ ロ タ ノ シ キ ハ ハ ナ ノ メ グ ミ ナ リ
二 ツ キ ニ マ シ ハ レ バ ア カ ク ナ ル ト イ フ

花 月

(小學唱歌集)

一 花を見る時は ころいとたのし
ころたのしきは 花のめぐみなり

二月を見る時は ころしづかなり
ころしづけきは 月のめぐみなり

三よきを見て移り 悪を見てさげよ
朱に交はれば あかくなるといふ

a tempo	アテンポ	本原の速度にて
tempo I	テンポ プリーモ	始の速度にて

他の用語の意味を限定するために用ひられる例

原語	読み方	意味
poco	ポコ	少く
meno	メノ	少く
piu	ピウ	多く
assai	アサイ	非常に
molto	モルト	多
non troppo	ノン トロポ	過ぎだしくなく

16. 楽器種類並に楽器記號の表

原語	読み方	意味
piano	ピアーノ	弱く
pianissimo	ピアニッシモ	極めて弱く
mezzo piano	メゾピアーノ	稍弱く
fate	ファテ	強く
fortissimo	フォルティッシモ	極めて強く
mezzo forte	メゾフォルテ	稍強く
crescendo	クレッシェンド	漸次強く

(118)

原語	読み方	意味
decrecendo	デクレッシェンド	漸次弱く
diminuendo	ディミニェンド	漸次弱く
marcato	マルカト	強快(且強)
sforzando	スフォルザンド	特に強く
fotepiano	フォルテピアーノ	強く且強
agitato	アガタート	激して
alla marcia	アラマルチア	行進曲風に
cantabile	カンタビレ	歌うたがごとく
comodo	コモド	優雅に
con moto	コンモト	いきいきと
con spinto	コンスピート	精神をこめて
dolce	ドルチェ	柔らかく
grave	グラヴェ	荘重に
grazioso	グラチオージョ	高雅に
legato	レガート	圓滑に
maestoso	マエストロ	威厳に
mosso	モッソ	稍速に(中)
prestimo	プレスティモ	速く(且強)
ritace	リタセ	快活且悠遊に

(119)

昭和十二年七月六日印刷
昭和十二年七月九日發行

新男子音樂教科書教授用書
(非賣品)

編著者 若狭萬次郎

發行所 東京市芝區松本町四拾四番地
共益商社書店

印刷所 共益商社書店印刷部

代表者 白井保男

電話 東京一五八〇番
三田(45)四四〇〇番
五五七番